

2017年 日本生物物理学会北海道支部総会

2017年3月16日 12:40～
北海道大学大学院
薬学研究院 第1講義室

1. 議題
 - 1) 年次計画
日本生化学会北海道支部会との合同シンポジウム
 - 2) 謝金および旅費支援ルールの改定
2. 2016年 活動報告
3. 2016年 会計報告
4. その他
5. 添付資料
 - 1) 支部講演会開催一覧
 - 2) 収支報告書

日本生物物理学会北海道支部

<各種役員・世話人・委員>

2015-2016 年 支部役員

支 部 長： 前仲 勝実 (北大・院薬)
幹 事： 姚 閔 (北大・院先端生命)
内田 毅 (北大・院理)
会 計： 尾瀬 農之 (北大・院薬)
会計監査： 金城 政孝 (北大・院先端生命)
地区委員(旭川)： 高井 章 (旭川医大・生理)
地区委員(室蘭)： 岩佐 達郎 (室蘭工大・材料物性工学)

2017-2018 年 支部役員

支 部 長： 姚 閔 (北大・院先端生命)

1. 議 題

1) 年次計画

日本生化学会北海道支部会との合同シンポジウム

平成 29 年 7 月 7 日(金曜日)予定(遺伝子病制御研究所・村上先生と打ち合わせ済)

2) 謝金および旅費支援ルールの改定

1) 講演謝金

国内一般1万、国内特別及び国外3万、特別な理由がある場合5万

2) 旅費補助

学生の生物物理関係国際学会に参加する旅費の補助 アジア 1万円、欧米 3万円
いずれも採否(これまで原則承認)及び金額は、基本的には支部長が判断する

2. 活動報告(2016年1月1日～2016年12月31日)

1) 2016年3月14日

2016年 日本生物物理学会北海道支部例会(一般講演15件)

2) 2016年3月14日

2016年 日本生物物理学会北海道支部総会

3) 支部講演会の開催

主催 5 件 (別添資料 1)

4) 若手研究者へのサポート

- ・支部例会発表賞 → 例会において優秀な発表を行った若手研究者 3 名に授与
- ・夏の学校への補助(最終的には黒字であったため、全額返却)

3. 会計報告(2016 年 1 月 1 日~2016 年 12 月 31 日)

2016 年 北海道支部決算書(別添資料 2)

4. その他

1) 支部メンバーリスト: 現在 160 名前後のアドレスを登録

2) 支部講演会 開催件数の推移 ⇒ 去年は少なめ

2008 年度	5 件
2009 年度	3 件
2010 年度	3 件
2011 年度	6 件
2012 年度	7 件
2013 年度	15 件
2014 年度	9 件
2015 年	7 件
2016 年	5 件

3) 支部活動に対するご意見・ご要望など

2016年度 日本生物物理学会北海道支部例会・第23回ファーマサイエンスフォーラム・
北海道大学創薬センター 合同シンポジウムジョイントセッション プログラム

3月16日(木)9:55～ 北海道大学大学院薬学研究院 第1講義室

No.	時間	座長	登壇者	講演タイトル	発表者	所属
9:55 開会の辞						
1	10:00	尾瀬農之・ 前仲勝実	Simon Miller	Crystallisation from start to finish	Simon Miller	KEK, Structural Biology Research Center.
2	10:30		Masatoshi Maeki	Microfluidic-Based Production of Lipid Nanoparticles for DDS Applications	Masatoshi Maeki ^{1*} , Yuka Fujishima ² , Yusuke Sato ³ , Akihiko Hshida ¹ , Hirofumi Tani ¹ , Hideyoshi Harashima ³ , Manabu Tokeshi ¹	¹ Division of Applied Chemistry, Faculty of Engineering, Hokkaido University ² Graduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University ³ Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University
3	11:00		Jose Manuel Martinez Caaveiro	Thermodynamic properties at the transition state in biomolecular recognition phenomena.	Jose Manuel Martinez Caaveiro	Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University
4	11:30		Simon Kollnberger	What causes inflammation in arthritis ? Lessons from HLA-B27 immune receptor interactions.	Simon Kollnberger	Cardiff Institute of Infection & Immunity
5	12:00		森岡弘志	高品質な一本鎖抗体の創製と血清AGE修飾タンパク質の検出 Development of high-quality scFv (single-chain Fv antibodies) for analysis of advanced glycation end-products (AGE) modified proteins from serum samples	森岡弘志	熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系)
12:40 - 13:10 支部総会						
13:10 - 13:40 休憩						
1	13:40	菊川峰志	永野悠馬	麻疹ウイルスV蛋白質fragmentとSTAT分子の相互作用解析に向けて	永野 悠馬 ¹ 、若原 拓也 ¹ 、蔣 欣欣 ¹ 、柳 雄介 ² 、前仲 勝実 ¹ 、尾瀬 農之 ¹	¹ 北大・薬、 ² 九大・医
2	14:00		長塚秀幸	脂質単分子膜の崩壊と修復現象へのSP-B ペプチドの長さの影響	長塚秀幸 ¹ 、藤岡美穂 ² 、王ホウイ ² 、日比野政裕 ¹	¹ 室蘭工業大学環境創生工学系専攻 ² 室蘭工業大学応用理化学系学科
3	14:20		Long Li	The epitaxial nucleation of protein crystal by using crystalline nucleant	Long Li ¹ , Akira Shinoda ² , Koji Kato ^{1,2} , Min Yao ^{1,2}	¹ : Graduate School of Life Science, ² : Faculty of Advanced Life Science, Hokkaido University
4	14:40		顔総子	PoI-FCS測定における回転拡散成分振幅の分子配向依存性の検証	顔総子 ¹ 、大浦真 ² 、山本栄太郎 ³ 、金城政孝 ³	¹ 北海道大学理学部、 ² 北海道大学生命科学院、 ³ 北海道大学先端生命科学研究院
15:00-15:15 休憩						
5	15:15	加藤公児	Motoi Miyazu	Elucidation of the molecular entity of a non-selective cation channel which functions as the main entry pathway of Ca ²⁺ required for stable contraction of ciliary muscle	Motoi MIYAZU* & Akira TAKAI	Department of Physiology, Asahikawa Medical University
6	15:35		福島綾介	Shot noise free number and brightness 解析法による生細胞内 Glucocorticoid Receptor 二量体化過程の時空間分布解析	福島綾介 ¹ 、山本栄太郎 ² 、金城政孝 ²	¹ 北海道大学生命科学院、 ² 北海道大学先端生命科学研究院
7	15:55		山崎莉佳	細菌の抗体分解による免疫レセプター活性化の分子基盤	山崎莉佳 ¹ 、古川敦 ¹ 、平安恒孝 ² 、黒木喜美子 ¹ 、荒瀬尚 ² 、前仲勝実 ¹	¹ 北海道大学大学院薬学研究院生体分子機能学研究室 ² 大阪大学微生物病研究所
8	16:15		南場大慈	トリガーファクターが補助するタンパク質折りたたみ反応の高速原子間力顕微鏡を用いたリアルタイム観測	南場大慈 ¹ 、斎尾智英 ^{2,3,4} 、古寺哲幸 ⁵ 、石森浩一郎 ^{2,3}	¹ 北大・理、 ² 北大院・総化、 ³ 北大院・理、 ⁴ JST・さきがけ、 ⁵ 金沢大・理工
16:35-16:50 休憩						
9	16:50	斎尾智英	石崎泉	DNA 複製開始因子の構造解析	石崎泉 ¹ 、桜井直文 ² 、加藤公児 ^{1,2,3} 、伊藤啓 ⁴ 、村松佐知子 ⁵ 、荒木弘之 ^{5,6} 、姚閔 ^{1,2,3}	¹ :北大理、 ² :北大院先端生命、 ³ :北大院生命、 ⁴ :遺伝研(現所属:(株)カイトムバイオサイエンス)、 ⁵ :遺伝研、 ⁶ :総研大
10	17:10		石塚幹広	免疫制御分子PILRαの糖タンパク質認識機構	石塚 幹広 ¹ 、古川 敦 ¹ 、前仲 勝実 ^{1,2}	¹ 北海道大学大学院 薬学研究院 生体分子機能学研究室 ² 北海道大学大学院 薬学研究院 創薬科学研究教育センター
11	17:30		渡邊弓	イオンポンプ型ロドプシンの機能化過程考察	渡邊 弓 ¹ 、長谷見 崇徳 ¹ 、菊川峰志 ^{1,2} 、相沢智康 ^{1,2} 、出村 誠 ^{1,2}	¹ 北海道大学大学院生命科学院、 ² 北海道大学国際連携研究教育局ソフトウェアグローバルステーション
17:50 閉会の辞						
17:55 懇親会						

＜北海道支部講演会開催詳細＞

回数	講演日	講師	演題	会場	申請者
1	2016/2/26 16:00～	李 映昊 (大阪大学蛋白質研究所)	「Challenging to understand general properties of protein misfolding and aggregation」	北大理学部7号館 2階7-220号室	石森 浩一郎 北海道大学 大学院理学研究院
2	2016/10/7 16:30～	石田博昭 (カルガリー大学)	「Overexpression of antimicrobial, anticancer and transmembrane peptides in Escherichia coli through a calmodulin-peptide fusion system The calcium-dependent switch helix of L-plastin regulates actin bundling」	北海道大学理学部5号館3 階 5-3-01 室	相沢 智康 先端生命科学研究院 蛋白質科学研究室
3	2016/10/11 14:00～	川崎昌博 (名古屋大学・宇宙地球環境研究所・客員教授)	「長距離作用プラズモン基板による 細胞・生体組織切片の発光増強」	北海道大学 次世代物質生命科学研究 センター1階 会議室 (旧ポストゲノム棟)	金城 政孝 北海道大学 大学院先端生命科学研 究院
4	2016/10/20 17:00～	溝上雅史 (独)国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター ゲノム医科学プロジェクトプロジェクト)	「What and how do IFN λ sin hepatitis virus infection?」	北海道大学 医学研究科医学部学友会 館フラテ 2階特別会議室	前仲 勝実 北海道大学 大学院薬学研究院
5	2016/11/15 16:00～	Patrick Senet (CNRS-Université de Bourgogne)	「Intrinsic Localized Modes in Folded, Unfolded, and Intrinsically Disordered Proteins」	北海道大学電子科学研究 所1階会議室	小松崎民樹 北海道大学電子科学研 究所
6					
7					